

# ○国立大学法人埼玉大学研究機構宇宙観測研究センター 規程

〔令和元年6月27日  
規則第11号〕

(趣旨)

**第1条** この規程は、国立大学法人埼玉大学研究機構規程第4条第4項の規定に基づき、宇宙観測研究センター（以下「センター」という。）に関して、必要な事項を定める。

(目的)

**第2条** センターは、国立大学法人埼玉大学（以下「本学」という。）における研究拠点として、特に多波長にわたる機動的、有機的な観測を基礎とした国内外の諸機関との共同研究を行い、天体の形成・進化及び物質・エネルギーの生成・循環について宇宙物理学の研究を推進し、その成果の社会への還元を目指すことを目的とする。

(業務)

**第3条** センターにおいては、次に掲げる業務を行う。

- (1) 多波長観測データを横断的に利用した観測的研究
- (2) 光・赤外線、X線及びガンマ線の天体観測装置の開発研究
- (3) 前2号に掲げる研究に関する国内外機関との研究協力

(組織)

**第4条** センターに、次の教職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 兼任教員
- (3) その他の教職員

(センター長)

**第5条** センター長は、本学の専任教授をもって充て、学長が委嘱する。

2 センター長は、センターの管理運営を掌理する。

3 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、センター長に欠員が生じた場合の後任のセンター長の任期は、前任者の残任期間とする。

(兼任教員)

**第6条** 兼任教員は、宇宙物理学における観測的研究に関する専門的知識を有する本学の教員のうちから、学長が委嘱する。

2 兼任教員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、兼任教員に欠員が生

じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター会議)

**第7条** センターに宇宙観測研究センター会議（以下「センター会議」という。）を置き、次に掲げる事項を審議する。

- (1) センター運営に係る具体的方策に関する事項
- (2) 自己評価に関する事項
- (3) その他センターに関する事項

**第8条** センター会議は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 兼任教員のうちから、センター長が指名する者
- (3) その他センター長が必要と認めた者

**第9条** センター会議に委員長を置き、センター長をもって充てる。ただし、センター長に事故あるときは、センター長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

2 委員長は、センター会議を招集し、その議長となる。

3 センター会議は、委員総数の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

4 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 議長が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(事務)

**第10条** センターの事務は、研究協力部研究推進課において処理する。

(雑則)

**第11条** この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、別に定める。

#### 附 則

1 この規程は、令和元年7月1日から施行する。

2 この規程施行後、第4条第1号及び第2号に規定する最初の教職員の任期は、第5条第3項又は第6条第2項の規定にかかわらず、令和3年3月31日までとする。

3 この規程は、令和4年3月31日限り、その効力を失う。